

# 岩手県 | 援隊だより

## 岩手県（釜石）派遣隊より

（「援隊しずおか」より）

県民みんなで 力を合わせ 希望に向かって 一歩ずつ  
**がんばろう！ 岩手**

Vol. 46（平成 27 年 7 月 15 日）

### ■ 釜石で2つの「世界」を体感！！！！（世界文化遺産・ラグビーワールドカップ）



左上) 高炉跡跡（一番高炉） ※橋野鉄鉱山インフォメーションセンター見学後がおすすめ。



右上) 日本最古熔鉱炉記念碑

岩手県釜石市にある橋野鉄鉱山を含む「明治日本の産業革命遺産」が、平成 27 年 7 月 5 日に「世界文化遺産」に登録されました。岩手県内では平泉に次いで 2 番目の登録となります。今回の登録は、1850 年代から 1910 年代までのわずか 50 年余りの間に西洋の産業技術を日本が独自の力で、自らのものにしたという点が高く評価されています。登録をきっかけに橋野鉄鉱山などの歴史的な遺跡を訪ね、日本の近代化の歴史やものづくりの原点に触れてみるのはいかがでしょうか。静岡県では、伊豆の国市の葦山反射炉がありますが、釜石の橋野鉄鉱山もお忘れなく！！

### また、釜石市鵜住居地区は「2019 年ラグビーワールドカップ」の開催地で国内唯一の新設スタジアムの建設が予定されており、復旧工事中である鵜住居川水門の早期完成も期待されています。被災地の復興・復旧とともに、2つの「世界」を体感できる釜石が、これから「熱いぜ！！」

また、釜石市鵜住居地区は「2019 年ラグビーワールドカップ」の開催地で国内唯一の新設スタジアムの建設が予定されており、復旧工事中である鵜住居川水門の早期完成も期待されています。被災地の復興・復旧とともに、2つの「世界」を体感できる釜石が、これから「熱いぜ！！」

#### 鵜住居地区全体計画図(案)(イメージ図)



## ■ 小鍬川護岸災害復旧工事が完成しました

静岡県派遣職員が担当する小鍬川<sup>うさぎ</sup>の護岸災害復旧工事が5月20日に完成しました。潮位の影響を受ける河口部での作業、寒冷期間におけるコンクリート打設など工程管理が非常に難しい工事でしたが、請負業者の遠野建設工業(株)のご尽力により、2億円超の規模にもかかわらず、14ヶ月の短期間にて竣工となりました。歩みはゆっくりかもしれませんが、ひとつ、またひとつ着実に復興が進んでいます。



左上) 護岸工事着手前 (奥に見えるのは被災した小鍬川水門)



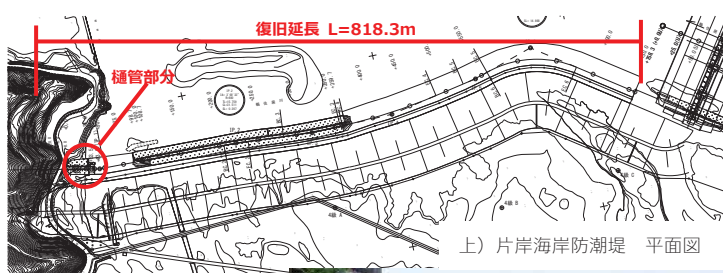
右上) 護岸工事完成 (奥の小鍬川水門の撤去工事も着実に進む)

## ■ 片岸海岸防潮堤工事で行方不明者の搜索活動を行いました

静岡県派遣職員が担当する片岸海岸<sup>かたぎし</sup>防潮堤工事では、海中のガレキ撤去が進捗してきたことに加え、昨年12月に一般市民からの「行方不明者搜索依頼」を受け、7月1日～2日の2日間に渡り、警察・消防・海保・釜石市と協力し、旧防潮堤の樋管部分の搜索活動を行いました。

当日は小雨が降る中、約70人が手作業で堆積した土砂をかき出すなどの作業にあたりました。

今回の搜索結果としては、新たな手掛かりは見つかりませんでしたが、近くでは行方不明者の遺族や知人ら8人が作業を見守り、震災から4年経った現在でも、遺族や知人らの切実な願いを感じました。



上) 片岸海岸防潮堤 平面図



上) 旧防潮堤の樋管部 (搜索活動のようす)



左上) 消防や市と協力し土砂を出す白鳥主査(中央)



中上) 搜索活動に立ち会う岩井主査(左端)



右上) 搜索活動を見守る遺族や知人ら

## ■ 静岡県から交通基盤部長や危機管理監代理が激励&視察に訪れました

5月29日に野知交通基盤部長他9名の交通基盤部職員の方々が静岡県派遣職員激励のため、岩手県沿岸広域振興局を訪れました。佐々木沿岸広域振興局長らと沿岸部の復興状況について、意見交換を行い、静岡県派遣職員が担当する各水門等の現場を視察されました。

また、6月2日にも黒田危機管理監代理他3名の危機管理部職員の方々が訪れ、加藤沿岸広域振興局土木部長らと意見交換を行い、静岡県派遣職員を激励されました。



上) 意見交換を行う野知部長(左奥)と佐々木局長(右奥)



左上) 甲子川水門の説明をする吉川主査(中央)



中上) 片岸海岸防潮堤の説明をする岩井主査(中央)



右上) 意見交換を行う黒田危機管理監代理(右)

## ■ 3.11 東日本大震災 遠野市後方支援資料館を視察しました

東日本大震災において、遠野市が広域応援部隊や緊急物資の後方支援拠点となったことから、その当時の市災害対策本部の記録や震災時における後方支援のあり方を学ぶため、遠野市後方支援資料館を視察しました。

遠野市は震災発生前の平成19年度総合防災訓練において、沿岸部への医療救護と救援物資輸送の訓練を実施していたことから、比較的スムーズに後方支援に移行できたことがうかがえました。加えて、資料館と同一敷地内にある総合防災センターでは広域応援部隊の活動を想定するなど防災意識の高さを感じられ、震災時における後方支援の重要性を再認識することができました。

興味のある方は、出張や旅行で岩手県にお越しの際に見学してみては??



上) 岩手県遠野市にある後方支援資料館



左上) 当時の災害対策本部記録を見る鈴木(健)主査



中上) パネルを見学する鈴木(広)主査ら



右上) 静岡県ブースを見学する白鳥主査

## ■ 日々是好日

### ○ 東北六魂祭 in 秋田（美人）

東北六魂祭は東日本大震災の復興と鎮魂を願い、震災の発生した平成 23 年から東北六県の持ち回りで開催されており、本年は5月30日と31日に秋田県秋田市で開催されました。

六魂祭は東北六県の代表的な夏祭り（青森ねぶた祭り、盛岡さんさ踊り、仙台七夕まつり、秋田竿燈まつり、山形花笠まつり、福島わらじ祭り）が一箇所ですとまとめて観れるとても贅沢なお祭です。静岡県派遣職員も、東北の熱い魂に触れ、復興への思いを新たにしました。

そして…東北各地の夏祭りはこれからが本番です。夏の旅行など機会があれば、ぜひご覧ください！！



### ○ 遠野バケツジンギスカン

6月21日に「第3回バケツでジンギスカン大会」が遠野駅前広場で開催され、楽しく美味しくいただきました。“バケツジンギスカン”は遠野ではお馴染みのスタイルとのことです。遠野へお越しの際は、ぜひご賞味あれ！！



左上) だんだん顔に見えて…

中上) ラム肉と格闘する岩井主査(左)

右上) わんこきょうだい(おもち)と白鳥主査

平成 27年度 岩手県派遣メンバー

岩手県 沿岸広域振興局 土木部

河川港湾課 復興第一チーム：鈴木広和

復興まちづくり課 復興第三チーム：吉川孝洋、鈴木健支、朝田敏裕、白鳥雅紀、岩井博靖

(本号編集者 朝田)